

# 被災地支援研修会レポート

東京都中央卸売市場葛西市場

平成24年10月24日（水）

(写真)

・ 車中での研修風景



(写真)

・ J Aでの集合風景



実施：平成 24 年 10 月 24 日

参加者：19 名

日程：6:00 葛西市場発

6:30 北足立市場発

放射性物質につ  
いての車中研修

11:30 JA 伊達みらい「ん  
めーべ」にて意見  
交換会

12:45 福島県総合センター  
放射性物質検査  
体制等の研修

17:57 北足立市場着

18:27 葛西市場着

○ J A直売所及び自主検査  
の視察

○ 意見交換会の内容

・ 平成 22 年の売上が 108 億  
平成 23 年は 75 億、今年は昨年  
より悪い。

・ 事故前、アンボ柿の売上は 20  
億あったが、規制値を超えてし  
まうので加工を自粛している。

(写真)

・ J Aでの挨拶風景



・ J Aでの自主検査風景



・ J Aでの意見交換の風景



・産地からのお願いとして、応援フェアが昨年は色々あったが、今年は全然ない。企画し産地支援に取り組んでほしい。

○ 市場側の意見・要望

「北足立売買参加者」

・商品がいいが、風評被害でなかなか売れない。

「北足立売買参加者」

・量販店は福島以外の物を売っている。また、学校から関東3県と福島産は納入しないでほしいと言われた。我々は

福島の安全でおいしい野菜を売りたい。問題は風評のみなので行政も頑張ってもらいたい。

「葛西市場売買参加者」

・応援してくれる客もいる。安全なんだからと地道に伝えながら取り組んで行くしかない。

(写真)

・ J Aでの意見交換の風景



(写真)

・ 県センター検査の合同研修風景



○ 産地側の意見・要望

「桃、林檎を生産している生産者」

・ 昨年はかなりの減収となった。皆さんにお願いしたいことは、マスコミはマイナスイメージしか伝えないので、皆さんから消費者に直接伝え風評被害をなくしてほしい。

「生産者」

・ 全国からの支援に感謝している。種をまくのに躊躇しているが、全国の皆様に協力していただき、頑張っって生産していきたい。

○ 県の検査の方法・流れ・これまでの検査の結果

(写真)

- ・ 県農業総合センター検査室  
視察



(写真)

- ・ 県農業総合センター建物外観



○ 参加者の感想

- ・ それぞれの品目のシーズン前に今回のような産地研修を実施してほしい。

- ・ 放射性物質の検査がかなりしっかりやっていると感じた。

- ・ 市場まつりなどで、卸、仲卸、小売、スーパー等が一丸となって福島農産物の安全性をアピールし続けることが大切かと思う。

- ・ 産地の方は頑張っています。風評被害に負けないよう頑張ってください。

- ・ 農業総合センターでの検査体制を実際に見、説明を受けて、これならばと自信を持った。

- ・ 消費者に安全・安心を理解してもらいます。

- ・ 現地の皆様の努力を見て安心・安全をもっとPRして販売しますが、行財政の方からもっと応援してもらいたいと思います。

- ・ 検査体制が万全なのは理解できたが、それを消費者に理解してもらうには、時間を掛けてPRしていく必要がある。

- ・ 消費者に安全・安心を理解してもらいます。